

温浴業界の総合情報紙

SAUNA



2012 May. No'429

SPA

公益社団法人日本サウナ・スパ協会 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-30 アルス市ヶ谷907 TEL:03-5275-1541 FAX:03-5275-1543 sauna.or.jp

平成24年度第一回理事会開催

公益社団法人日本サウナ・スパ協会は、4月27日(金)午後1時より東京都千代田区秋葉原のネットカンファレンス会議室にて「平成24年度第1回理事会」を開催した。

定款の規定に基づき、代表理事である中野憲一会長が議長となり、定足数を満たしたことを確認、本会議の成立を宣し、議長より議事録作成者に米田行孝専務理事を指名し議事に入った。

第1号議案 『平成23年度事業報告』の件

若林幹夫理事より啓発普及事業(調査研究事業、機関紙頒布事業、インターネットによる情報提供事業、メディア対応事業、その他)について、米田行孝専務理事より基準策定研修事業(基準策定事業、優良店認定事業、養成研修・資格登録事業、研修事業、顕彰事業、相談事業)、管理(会員拡充、会計)について説明があり、審議の結果原案どおり可決し、6月5日の通常総会に於いて諮ることとした。

第2号議案 『平成23年度収支決算書』の件

会計担当の織茂明彦副会長より収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書の説明があり、審議の結果、収支決算については原案どおり可決し、6月5日の通常総会に於いて諮ることとした。

第3号議案 『理事並びに執行理事の一部選任』の件

織茂明彦副会長より、東京都協会会長の吉田秀雄理事を執行理事に選任するとともに副会長に選任することの提案があり満ち一致で了承された。また、新理事に米田篤史氏(株)ジェム代表取締役)、松村譲裕氏(株)ユーランドホテル八橋代表取締役)、岸野肇氏(福日観光(株)常務取締役)を推薦したい旨の説明がされ、審議の結果、この推薦を了承し、6月5日の通常総会に於いて諮ることとした。

第4号議案

『入会審査基準(細則)』について

若林幹夫理事より、入会審査基準に附則並びに基本方針として下記を追加する旨提案があり審議の結果、原案どおり可決した。

(附 則)

正会員が抱える諸問題は、その所属する地域の規制や条例・細則・運用等も異なり、安全安心な店舗運営、売上向上の為に地域独自のよりきめ細かい課題に沿った事業活動を行うことが必要ことから、各都道府県別の協力団体へ同時に加盟することを申し合わせる。

(基本方針)

業界全体の衛生水準の向上、サウナ・スパの普及啓発等の公益活動は日本サウナ・スパ協会が担い、地域別のよりきめ細かい問題解決、売上向上のための勉強会等は各都道府県の協力団体で行う。

第5号議案 『全国総会(岐阜市)』の件

平成24年6月5日(火)16:20~17:10、岐阜市の十八楼会議室に於いて、議題1「平成23年度事業報告の件」、議題2「平成23年度収支決算報告の件」、議題3「理事の一部選任の件」を審議するための平成24年度通常総会を開催することが了承された。

なお、被災地支援の一環として映画「スチームオブライフ」の上映、マンガ家タナカカツキ氏の講演なども企画する。

その他として、①寄付控除団体への認定について、②第3回熱波甲子園(2面に告知記事掲載)について、③サウナの書籍「フィンランドのこころ」日本語版の発刊について、被災地設置のテ



トサウナの撤収(2面に報告記事掲載)について、ISS・FSS 記念式典(11月フィンランド・ヘルシンキにて開催予定)について、サウナ検定企画について説明があり、引き続き今後の執行理事会に於いて検討することで了承された。



2面に関連記事を掲載

SAUNA・SPA 新聞へのご意見・ご感想をお聞かせください。

携帯用QRコード

協会ホームページでもご覧になれます。http://www.sauna.or.jp/



デモンストレーション承っております(什器類も貸し出し致します) お気軽にご連絡下さい

改良品登場

香約3倍
使用量半分

酒風呂 極まる。

本物の酒風呂『菊正宗美人酒風呂』

日本酒ブランドの雄「菊正宗」が生み出した、「本物感」たっぷりの入浴剤です。菊正宗が織りなす豊かな日本酒の香りと、化粧品にも使用されている日本酒の『保湿成分』による、しっとりとした肌の仕上がりが大変好評を頂いております。

他店との差別化にぜひオススメさせて頂きたい商品です。

10L
¥9,800

販売用もご用意

ニシカワヤ株式会社

〒453-0839 愛知県名古屋市千代田区長茂町7丁目65-1

TEL 052-412-3059 FAX 052-411-8551

ホームページ www.nishikawayaya.co.jp

Eメール info@nishikawayaya.co.jp

「第3回熱波甲子園」 エントリー受付中!

本紙 2011 年 9 月号で紹介した「熱波甲子園」(日本ロウリュ熱波ワーク主催)が、今年も7月19日愛知県の「サウナイーグル」(知立市)で開催される。今回で3回目を迎える本イベントは、サウナ内のロウリュ、アウフグース、熱波担当者の技と力強さと美しさを競い合うロウリュイベント。丸一日熱い戦いを繰り広げ、その様子はインターネット温浴情報番組「オフロナイトニッポン」で放送される。

昨年は熱波ボウリング、クイズ、パフォーマンスの3部門で競い合ったが、オリンピックイヤーの今年はどうような種目があるだろう。この競技、参加者の体力勝負は当然のことながら、サウナの中で審査をする審査員こそかなりの覚悟が必要だ。昨



年審査員を務めた(株)メスの神山敏社長はこう振り返る。「参加者すべての渾身の熱波を受けたかったんですが、イヤー無理でしたあ。でも参加した皆さんの気持ちは十分伝わりました。自分の仕事に強い思い入れを持ち全国から集まって腕を競う。この健全なエネルギーは温浴業界を元気にしますよ。汗も涙もそして笑いもある素晴らしいイベントです」

「サウナイーグル」の倉知悟支配人はこう呼び掛ける。「この競技は我慢比べではありません。力強さと美しさと技という多方面から審査して、魅力的なサウナサービスの活性化を目指しています。今年は去年の2倍近いチームの参加が予定されています。我こそはと自信のある方はエントリーなさってください。見学だけでも大歓迎です」

●お問い合わせ先
サウナイーグル 倉知支配人 ☎ 0566-82-2814

安全面への十分な留意をお願いするとともに、業界活性化につながる本イベントを応援しましょう。

東京都協会 勉強会

東京都協会(吉田秀雄会長)は4月24日(火)「第59回勉強会」を開催しました。今回は昨年10月に改正された「東京都暴力団排除条例」の概要について、警視庁組織犯罪対策部組織犯罪対策第三課の山内寛二警部に講演していただきました。具体的に身近な問題を例に挙げて、解かりやすく暴力団に対する対策を説明していただき、参加者からも具体的な事例を挙げて質問が出ていました。

またプレゼンテーションとして日本テクノ株式会社 久保田宏行氏より、現在大きな問題になっている電力の値上げについて、値上げ幅や料金の仕組み、運用改善によるデマンド値の低減化など、節電やピークカットによる電力料金の節約方法について説明をしていただきました。

参加者にとって切実な問題だけに、真剣に説明を受けながら今後の対策について検討しました。

終了後、賛助会員も参加して懇親会を開催し、今日の課題を踏まえて店舗においての節電対応策の徹底や教育方法、また新会員も含めて業界内の営業状況の情報交換などに話が弾みました。



被災地支援に関する報告

女川地区のテントサウナを回収しました

被災地支援のため、昨年4月に宮城県牡鹿郡女川町御前浜の避難所に設置した大型テントサウナと9月に同所に仮設置した中型テントサウナがその役目を終えたとのことで、5月4日回収に出かけました。東京から松村譲裕氏、吉川孝一氏、若林幹夫氏が、名古屋からは田中琢巳氏と私が現地入りし、大型テントは東京で、中型は名古屋で保管することになりました。

大型テントサウナはほぼ1年設置したままであったため、テントの底面や椅子の裏の損傷はひどい状態で、作り直しが必要になります。それだけ使っただけたということでもあり、改めてこの活動の意義を感じました。テント部分や骨組みは丈夫にできているため、多少のメンテナンスでサウナ啓発活動や今回のような緊急支援に役立てることができそうです。

久しぶりに訪れた女川ですが、瓦礫撤去が終わり人影が非常に少なく、忘れられた町のようにいっそう寂しい情景でした。

ただ、入り組んだ海岸線の美しさは以前のままで、次はこの景色を楽しむために訪れ、地元にも少しでも役立ちたい。そういう思いで女川を後にしました。

専務理事 米田行孝

※気仙沼に設置したテントサウナはまだ活用してくださっているとのことで、このまま設置を続けます。

厚生労働省健康局より 「世界禁煙デー」および「禁煙週間」の啓発にご協力を

世界保健機構(WHO)の「たばこを吸わないことが一般的な社会習慣となるように様々な対策を講ずるべきである」という決議により、昭和63年から毎年5月31日を「世界禁煙デー」と制定。厚生労働省はこの日に始まる一週間(5月31日～6月6日)を「禁煙週間」と定め、各種のたばこ対策を実施してきました。

本年度は、喫煙および受動喫煙による健康被害等についての普及啓発に加え、今年度の「世界禁煙デー」のテーマ「Stop Tobacco Industry Interference」(たばこ産業の干渉を阻止しよう)、「禁煙週間」のテーマ「命を守る政策を!」についても普及啓発を積極的に行うこととしています。つきましては、趣旨をご理解の上、ポスターの掲示、関係者への周知及び公共の場での受動喫煙防止対策の実施についてご協力をお願いいたします。

国際サウナ協会より ヨーロッパ最大の プール・サウナ・温浴スパの展示会 「INTERBAD」のご案内

親愛なるメンバーの皆様

今年は2年に1度ドイツのシュトゥットガルトで開催される「INTERBAD」年です。

開催期間は10月9日から12日まで。資料をお送りしますのでご覧ください。国際サウナ協会会長 リスト・エローマ

※資料(英語)は協会HPをご覧ください。



訃報のお知らせ

協会前理事(副会長)の佐藤有宏氏が、5月12日(土)午前8時過ぎに逝去されました。享年67歳。

佐藤氏の協会への功績は大きく、特にテントサウナによる社会貢献の可能性には強い信念を持っておられました。災害発生時、被災地にテントサウナを設置することで滞りがちな血流を促し、「エコノミークラス症候群」やストレスの緩和に役立てられるとの思いから、2009年5月、帯広市の北海道ホテルにおいて開催した全国総会では日本初のテントサウナを設営し、マスコミを動員して注目を集めました。東日本大震災はその2年後のことで、テントサウナは現在も実際に被災地で役立っております。

15日(火)に告別式が行われ、協会からは中野憲一会長、米田行孝専務理事、米田篤史氏が参列。36年間におよぶサウナ・スパ業界への多大な貢献に対し感謝の意を表し、ご冥福をお祈りしました。



佐藤有宏氏の略歴

昭和49年4月北海道サウナ協会 専務理事・副会長
平成6年4月社団法人日本サウナ協会 理事
平成11年4月北海道サウナ協会 会長
平成12年4月社団法人日本サウナ協会 副会長
平成17年6月厚生労働省 健康局長表彰
平成22年5月厚生労働大臣感謝状

お詫びと訂正

5月号総会スケジュール部分(4面)の「十八楼」の電話番号が間違っていました。正しい番号は☎ 058-265-1551 です。お詫び申し上げます。



東京都協会韓国温浴施設視察研修会 報告

温浴施設に宿泊、地下鉄で巡ったソウル 「韓国スパはコミュニケーションの場」を実感

東京都協会（吉田秀雄会長）は4月16日～19日にかけて「韓国温浴施設視察研修会」を開催、10名が参加しました。

視察施設はシロアムサウナ、フォーシーズン・ウォーターパーク、スパレックス、ドラゴンヒルスパ、ハッピーデイスパの5施設です。今回はシロアムサウナ、フォーシーズン・ウォーターパークの特筆点を報告します。

今回は初の試みとして現地のスパにて宿泊体験を行い、施設の利用実態を経験しました。視察したすべての施設は健康ランド的な大規模施設で、大きく分けると浴室ゾーン、チムジルバンゾーンで形成されています。浴室ゾーンは洗い場、浴槽、サウナ、岩盤浴、アカスリがあり、チムジルバンゾーンは数百畳ある広いオンドルを中心として、その周りに岩盤浴、汗蒸幕、飲食コー



ナー、マッサージ、娯楽室（PCコーナー、ミーティングルーム、カラオケ、キッズコーナー、ゲームコーナー、仮眠室等）があります。岩盤浴・汗蒸幕で汗をかいた後、クールルームやオンドルで休憩するプログラムを何度か繰り返すのが一般的で3、4時間以上の滞在は普通です。館内着は岩盤浴用に分かれておらず1着のみで汗をかいても交換しません。

施設の利用法は日本と同じですが、どの施設も浴場前にフェイスタオルと体を洗うためのタオルが積まれており、無制限に使用できます。サウナ室にはマットは敷かれていないところが多く、手持ちのフェイスタオルを座る場所に敷きます。洗い場はシャワーとカランが同数程度あり固形石鹸しかない施設も多く、必要であればシャンプー、リンスを売店で買うようになっていました。

日本の温浴施設は約2万6千件あるのに対し韓国は約4万件、日本の約1.5倍あるそうです。人口は約5千万人で日本の約1億3千万人の半分以下ですから、人口に対して温浴施設がいかに多いかがわかります。それだけ温浴が生活に根付いているということだと思います。

視察したのが平日ということもあり入館者数は多くありませんでしたが、若者が親や恋人や友人たちと交流し、美容やデートにチムジルバンを利用している様子を



よく見かけました。日本のサウナ、健康ランドは比較的年齢の高い方の利用が多いのですが、韓国では老若男女を問わず幅広い年齢層が、コミュニケーションの場として施設を楽しんでいました。日本でもチムジルバンが導入されていますが、汗をかくアイテムとして導入されているだけで、まだコミュニケーションの場として利用するアイテムとしては確立されていません。

日本の温浴施設はお風呂が主ですが、韓国はチムジルバンが主。この違いにより温浴がコミュニケーションの場として発達したのでは、と考えると、日本の温浴産業はまだまだ可能性を含んでいることを感じました。

今回の視察参加者は、吉田秀雄、吉川孝一、岸野肇、唐木伸夫、斉藤英明、関口晴雄、根本俊介、松村譲裕、中山眞喜男、小野瀬一則 以上10名でした。（敬称略）

●施設紹介 シロアムサウナ スーツケースもOK いたれり尽くせりの温浴施設

ソウル駅から5分の5階建て温浴施設。駅に近いということからサラリーマンや出張のビジネスマンも多く、大きな荷物は専用の荷物室に施錠し預かってくれます。施設が空いていたのか、私たちは各自ロッカーを2個ずつ提供され、1つはトランクをそのまま入れて使えたので、荷物の心配をすることなく視察できました。日本の若い女性の中にはホテルを予約せずにスパで泊まる人もいます。浴室は黄土風呂、玉石風呂などの浴槽、ジェット風呂、水風呂、岩盤浴など数種類の浴槽とミストサウナ、ドライサウナ2種類がありました。チムジルバンは2F、3Fの2フロアーにもあり玉石、岩塩、汗蒸幕、黄土、炭、酸素、クールルームなど豊富に岩盤浴があり細部のデザインにもこだわった造り。仮眠室はガラガラで、オンドルコーナー、低温の岩盤浴（酸素ルーム）にマットレスと枕を持ってきて寝ている人がほとんどで面白い光景でした。

私たちも思い思いの場所でごろ寝をしたわけですが、開放感があり、非常にリラックスできました。

■データ シロアムサウナ

施設形態：健康ランド（24H営業）入館料：12000ウォン（約840円）
付帯施設：床屋、レストラン×2、軽食コーナー、トレーニングルーム、ミーティングルーム、カラオケ、PCルーム、チムジルバン、仮眠室
サウナ：ドライサウナ×2、スチームサウナ



2段ベットになっている睡眠室

高温と低温がある塩チムジルバン

オンドルには背もたれ用の丸太が置かれていた

●施設紹介 フォーシーズン・ウォーターパーク おしゃれで近代的 でもごろ寝は健在

ソウル東部にある「往十里」駅ビル内にあるとてもおしゃれできれいな都市型施設です。浴室は大きくゆとりがあり、駅ビルなのに露天風呂までありました。浴室内のむしろを敷いたオンドルコーナーは裸で寝ることができるようになっており、韓国独特の温浴文化を感じました。プールがありました利用している人はいませんでした。施設内で人気があったのは伝統窯村というコーナーにある汗蒸幕。むしろを持って90度の部屋に入る、座浴または寝浴です。体験してみましたが、床や壁から熱気が出て数分で全身から汗が吹き出しました。中央にあるオンドルフロアには漢方素材でもあるという「木魚石」という石を張りつめてあり、寝転ぶと健康に良いということで、この施設も仮眠コーナーよりもオンドルでごろ寝が主流とのことでした。

■データ フォーシーズン・ウォーターパーク

施設形態：健康ランド（24H営業）入館料：10,000ウォン（約700円）
付帯施設：レストラン×1、軽食コーナー、チムジルバン、汗蒸幕、仮眠室、プール
サウナ：ドライサウナ、ミストサウナ



駅ビルの中に大規模な健康ランドが

汗蒸幕の前でもゴロリ

「木魚石」のオンドルは若者たちにも人気がある

ソウルの地下鉄システムは 割引ありで 日本よりお得

ソウル市街は車が混み、移動に時間がかかることから、今回は地下鉄や路線バスを主に利用したので効率よく移動もでき、市民の目線で視察ができて良かったと思います。参考までに韓国の地下鉄の利用法を紹介しましょう。

一回用カードを利用する方法（ICカードの為にその都度デポジットを取られ、下車駅で専用の機械に通すと返金される）と、日本の「Suica」や「PASMO」と同じように金額をチャージして使う「T-money」というICカードを利用する方法があります。「T-money」はカードタイプの外に携帯のストラップタイプ等多様な形があり、地下鉄以外にも国鉄、バス、タクシー、コンビニでの買い物など多彩な利用ができます。特筆すべきは「T-money」を利用して乗車すると乗車料金が1割引になることです。また電車内は無料のWiFiがあり地下鉄でも常にインターネットに接続できるとのことでした。



1回用カード回収機。カードを入れるとデポジットが返金される

厚生労働省
後援

第18期サウナ・スパ管理士／第21期サウナ・スパ健康士 6月20日から24年度養成講座の受講生募集開始

本年もサウナ・スパ管理士／健康士養成講座の後援を厚生労働省に申請しており、6月20日より受講生の募集を開始する予定です。

温浴の健康効果がクローズアップされ、目的を持って利用なさるお客様が増えるに伴い、専門的指導のできるスタッフの存在が重要になってきます。施設の付加価値、スタッフの意識を高めるためにも、厚生労働省後援の本資格は有効です。なお協会が認定する優良店には管理士の配置が義務付けられています。スケジュール、カリキュラムの詳細等はHPをご確認ください。

平成23年度受講者の試験合格者には、5月1日付で修了証が発行されました。

今回サウナ・スパ管理士を受講した(株)メトスの佐野貴司さんに本講座を受講した感想を寄せていただきました。

施設運営のオペレーションとしても基準になるべきスキル
一人でも多くの方に受講していただきたい講座です

サウナ・スパ管理士 佐野貴司

皆様のご指導の下、「サウナ・スパ管理士」の講座を終了しました。非常に充実した内容で、日々サウナに関する仕事をしている私ですが、初心に返り勉強をさせていただきました。総合的にこれほど勉強できる場は他にないと感じております。

例えばサウナに入るとどのような効果があるのか、分泌されるホルモンの種類、臓器に与える影響まで勉強します。体調に応じた入浴の仕方を定量的に学ぶことにより正しい専門知識を身につけたという実感があります。また



技術的な部分や最後に学ぶサービスマニュアルも他にはないレベルで、知識だけでなく意識も向上させるカリキュラムは、施設運営のオペレーションとしても基準になるべきスキルです。

温浴業界では本資格のようなスキルの取得が重要であり、サウナ・スパ業務に携わる一人でも多くの方に受講していただきたい素晴らしい講座でした。

歴史が長く、世界中の方々に愛されるサウナ。しかし、日本では混沌とした歴史の中で誤解も生まれました。クールダウンを含めた「温冷交代浴」がサウナであるという正しい知識を、我々管理士が啓発し、環境衛生の向上にも寄与していきたいと考えております。

オフロで元気になろう！ 観客動員数No.1、『テルマエ・ロマエ』

協会が後援する映画『テルマエ・ロマエ』が4月28日、全国東宝系でロードショーが始まり、ゴールデンウィークの映画動員ランキングでは150万人の動員数を記録し劇場動員数ナンバー1を爆走している。興行収入は20億以上！。早々に観たという協会関係者からは、「予想以上の面白さで、声を出して笑ってしまった」と絶賛の声も届いている。

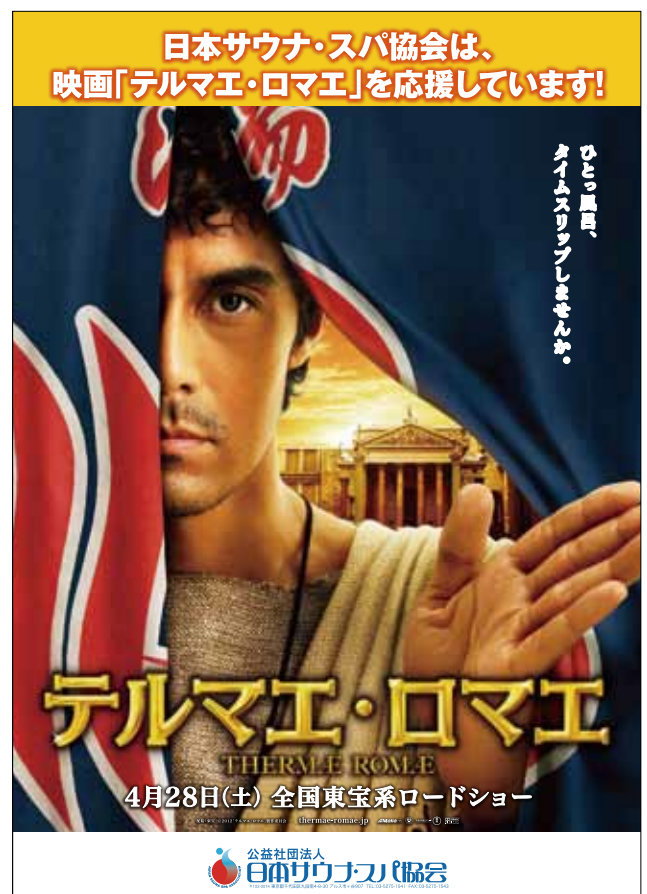
また、2月に主演の阿部寛さんと上戸彩さんが現地を訪れ行ったローマプレミアでも、「素晴らしかった!」と大絶賛され、スタンディングオベーションが巻き起こったほどの力作。映画の舞台、イタリアで4月20日～28日（現地時間）に開催された「第14回ウディネ・ファアーイスト映画祭」では“マイムムービーズ賞”を受賞。今回のヒットを通じ、イタリアでも上映が決定し、2012年中にイタリア国内約50館ほどでの上映を予定しているようだ。イタリアでも人気が出そうな本作、まだ観てない方は是非上映館に足を運んでみてはいかがだろうか。

『テルマエ・ロマエ』ストーリー

舞台は西暦130年代の古代ローマ、ハドリアヌス帝時代。テルマエ（浴場）設計技師ルシウス（阿部寛）は、派手さだけで本来の憩いの場として機能

を忘れられた昨今のテルマエに反発しながら、それを超えるアイデアを生み出せずに悩んでいた。一風呂浴びて気分を紛らわせるために出かけたテルマエの騒々しさにうんざりし、湯船の中に身を沈めると、浴槽の底に穴がありそこに吸い込まれてしまう。必死にもがいて水面に顔を出すと、そこは「平たい顔族」がくつろぐ現代日本の銭湯の中だった。ルシウスはそこで見た日本の温浴習慣を古代ローマ風呂設計に生かし絶賛される。以来度々日本の風呂にタイムトラベルしながら温浴空間プロデューサーとして名声を勝ち得、ついに彼はハドリアヌス帝御用達となる。しかし彼のタイムスリップにより、ローマの古代史を変えかねない出来事が起きてしまう。ルシウスは歴史を元に戻すため、日本の湯治療法を用いて敗戦色が漂っていたローマ軍に勝利をもたらす。

マンガ大賞2010と手塚治虫文化賞短編賞をW受賞したヤマザキマリ氏の異色コミックの映画化。イタリア屈指の古代ローマセットを有する撮影所・シネチッタマ



© 2012 「テルマエ・ロマエ」 製作委員会
© Mari Yamazaki/PUBLISHED BY ENTERBRAIN, INC.

でのオープンロケの壮大さと日本の銭湯や家風呂などの庶民感のミスマッチさが面白いタイムスリップコメディ。古代ローマ人になりきった阿部さんのシリアスな演技は大いに笑いを誘う。

「ロックスフェイスサウナ
イズネス」

サウナ維新

サウナの主流はロウリュウサウナへ。
圧倒的な熱波がサウナ新時代の流れを、
人の流れを生み出します。

ikisawana

かつてない熱波、迫力の表情。
自動ロウリュウシステムも搭載。

コンパクトながら熱波は強力。
デザイン性に優れた省スペース型。